

# B-2 : 研究コンプライアンスとリスク管理

開催日時・会場 9月18日(金曜日) 13:45 - 15:15 会場D

## 契約の管理手法

2019年11月、「国際競争力強化に向けた日本企業の法務機能の在り方研究会 報告書～令和時代に必要な法務機能・法務人材とは～」と題する報告書が経済産業省より公表されました。企業向けと題されていますが、大学も企業と変わるところはなく、また、大学においても国際競争力の強化の重要性が叫ばれている昨今、大学の法務部門においても示唆に富んだ重要な報告書であると考えています。報告書によれば、組織の「守り」を固めるための存在だった法務部門に、「攻め」の担い手となることを期待する声があがっているとのこと。大学の法務部門もこうした流れに追随していく必要があります。「攻め」の担い手になるためにも、「守り」の業務について現状の見直しを行い、体制を整えておきたいところです。

このセッションの前半では、「守り」の業務の要である「契約」の管理について取り上げます。多くの法務部門が抱えると思われる問題点を洗い出し、解決に向けた方法の検討を行います。最近話題となっている法務、特に契約分野におけるAI活用の可能性についても取り上げます。セッションの後半では、様々なリーガルテックを駆使し、経済産業省報告書が理想とする「攻め」の法務部門像を体現されているサントリーホールディングス株式会社法務部の事例をご紹介します。数々のイベントで、多くの法務担当者を魅了したサントリー法務の取り組みに接することが出来るまたとない機会です。

是非セッションにいらしていただき、法務部門の大きな可能性、法務部門の魅力と楽しさを共有していただければと思います。

## セッション担当者

大部 真紀: 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構  
オープンイノベーション推進部 知的財産・連携推進室  
URA

国立研究機関、専門商社法務部門を経て2013年度より現職。主に契約法務、利益相反を担当。大学の研究力の強化に向けた法務部門の有るべき姿を模索しており、現在リーガルテックに興味を持っています。

## 登壇者



明司 雅宏: サントリーホールディングス株式会社 法務部 部長

1992年サントリー株式会社入社。酒類営業、財務部を経て、企業法務に従事。M&A、組織再編、コーポレートガバナンス、独占禁止法、個人情報保護、情報セキュリティ、リスクマネジメント、などを中心に幅広く法務業務に携わる。現在は、AIやデータ、知財と取引・契約やルールの新しい取り組みに関心をもって取り組んでいる。